



白菜の積み込み(八木 五郎)

しらかば通信

東京真田町の会 No.33



材木だし(原 昌)

2026(令和8)年度 第39回総会・懇親会のご案内

陽春の候となりましたが、会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、「東京真田町の会」第39回総会・懇親会を下記の要領にて開催のはこびとなりました。今年は4市町村が合併して新生上田市が誕生し、20周年を迎えた記念すべき年であり、当総会は、当会の今後を占う重要な会となりますので、出来るだけ多くの皆様にご出席を賜りたいと存じます。また、懇親会を一段と楽しんで戴くためにベテランのジャズ歌手、夏山美樹さんにご出演をお願いし、懐かしい唄も聞けるように配慮しました。懇親の時間を十分長くとってありますので、カラオケを楽しんでいただき、また、恒例のリンゴくじ引きも用意しました。どうか皆様方、お互いにお誘い合いの上、ご出席賜りますよう、ご案内申し上げます。

第39回総会・懇親会

記

期 日 2026(令和8)年5月17日(日)
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館、五階「大雪」
千代田区九段北4-2-25、TEL03-3261-9921
受 付 11:30より
総 会 12:00~12:40

— 記念撮影・休憩 —

懇親会 13:00~16:30
アトラクション ジャズ歌手 夏山美樹さん
懇親会費 8,000円(会員でない方は4,000円)
年会費 2,000円

出欠の返信方法 同封の返信葉書で4月24日(金)までにお送り下さい。締切り後に出席を希望される方は、電話、FAX、メールでご連絡下さい。

懇親会での余興や娯楽 籤引きによる贈りものなど、また、カラオケ時間もあります。

— そのほかのご案内 —

- 1) 年会費(2,000円)を払込取扱票にて振込願います。
- 2) 返信葉書に記入された近況は日本ダボス No.39へ掲載されます。

- 3) お問い合わせの際は下記へご連絡ください。
会長・事務局 深町共榮
TEL 090-7225-6491
副会長 柴田小夜子
TEL 03-3467-4035
- 4) 次の各駅から会場までは徒歩約2分です。
 - a) 地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(出口1、A1)
 - b) 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅(出口A1、A4)
 - c) JR 中央総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅



第39 回総会・

懇親会にあたって

会長 深町 共榮

桜花爛漫たる好季節、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

今年も東京真田町の会、第39回総会・懇親会を開催する運びとなりました。会員の皆様には、出来るだけ都合をつけてご出席頂きますよう、ご案内申し上げます。

今年は、上田市と真田町、丸子町、武石村が平成18(2006)年に合併して、新生上田市が誕生し、20周年を迎えた記念すべき年であります。このことは、とりもなおさず、真田町の町制が消え、20年過ぎたこととなります。合併時の箱山好猷町長によると、当会の合併後の方向性については、現行のとおりとし、合併して3年後を目途に、他の3市町村の会との融和を図りながら建設的で発展的な会としていただくことが協議されることを期待すると述べておられます。その後、同年11月29日に当会と東京上田会、東京丸子会、東京武石会の役員が集まりが持たれたものの、具体的な協議はなく、東京武石会は、東京上田会に合流し、東京丸子会は解散しました。現在上田市のふるさと会は、当会と東京上田会の二つとなりました。合併15年を経て、上田市役所にて、上田市、真田地域自治センター、東京真田町の会、東京上田会の代表が集まり、上田市のふるさと会について話

し合いをもちましたが、具体的な方針がきまらないまま今日に至っています。

当会の運営では、大きな問題が二つあります。その一つは、会員の高齢化に伴い、会員数が激減したことです。現在の会員数は、60名程度、平成8年頃の十分の一です。

もう一つは、役員の補充です。現在、会長は、事務・会計を兼ねております。この役員不足で会の運営が破綻しそうです。破綻をさけるため、上田市の「ふるさと会」として、活発な活動をしている「東京上田会」に合流してはとの意見もあります。しかし、当会は、真田町が音頭をとって発足し、東京上田会は、関東の高校同窓会が集まり発足しており、運営形態が大きく異なります。

このため二つの会の合流は簡単ではありません。残念なこと、当会を発足させた真田町はすでに無く、現在は、上田市真田地域自治センターのうしろだてで運営されています。本来ならば町の発展に寄与するとの目的が、現在では曖昧となってしまう

た。これら問題につき、第39回総会では、会員皆様のご意見を受け賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

当会初代会長の小林孝雄さん(曲尾出身が、昨年の誕生日にて百寿を迎えられ、お元気で過ごされています。最近、お手紙を戴きましたが、当会の会員数減と、役員不足を心配されておられました。また、今後のありかたにつき、上田市及び真田地域

の責任者の皆様と共に考えてはと述べられておられました。大変参考になるご意見かと存じます。

幼少期よりピアノ・バレエを習い、高校より声楽科へすすむ。73年、日本テレビ「スター誕生」第9回決勝大会優勝。高校に通いながら歌手デビュー(芸名、梶たか子)。78年より夏山美樹に改名し、女優の道へ進む。宇野重吉の娘役などテレビドラマや映画に出演。森進一の恋人役など舞台に出演。東宝ミュージカルなどにも多数出演。さらにショーシンガーとして海外公演を行う。90年代よりジャズシンガーとして2枚のアルバムをリリース。現在は、「銀座Swing」をはじめ、都内のライブハウスに多数出演。ジャズボーカリストとして活動しながら、後進

総会アトラクション出演

夏山美樹さんの紹介



の指導を行っている。ちなみに、ご主人はアニメーション映画監督の杉井ギサブローさんで、本年度第49回日本アカデミー賞にて、会長功労賞を受賞されております。(坂口英一理事の紹介)

さふるさと小中学校新入生数

令和7(2025)年度、ご入学おめでとうございませう。

表に示すように、真田自治センター調査によりますと、この年度における両中学校の新入生数合計は72名、および四つの小学校新入生のそれは64名でした。

令和7年度真田地域小学校及び中学校入学者数

学校名	男子/人	女子/人	計/人	令6年度
菅平中学校	1	2	3	(12)
真田中学校	41	28	69	(62)
中学校生徒総計	42	30	72	(74)
菅平小学校	2	6	8	(6)
長小学校	5	4	9	(11)
傍陽小学校	5	7	12	(7)
本原小学校	17	18	35	(40)
小学校生徒総計	29	35	64	(64)

祝 新生上田市誕生20周年

平成18年3月に、旧上田市に丸子町、真田町、武石村が合併し、新生上田市誕生から、令和8年3月で20周年を迎えました。この間、

- ・平成19年上田市市憲が制定、
- ・23年上田市自治基本条例の施行及び市花「さくら」の制定、
- ・26年交流文化センター・市立美術館「サントミュージゼ」オープン、
- ・28年NHK大河ドラマ「真田丸」放映スタート、
- ・29年公立大学長野大学設立、
- ・令和元年ラグビーイタリア代表が菅平でトレーニングキャンプを実施、
- ・3年令和元年東日本台風で被災した上田電鉄別所線が復旧、市役所新庁舎オープン、
- ・6年地域コミュニケーションアプリ「キクもん」運用開始、
- ・7年「平和の灯モニュメント」設置、

長野大学に理系学部が新設

平成29年に私立「長野大学」が上田市に
よる公立大学となりなりました。公立化にあたり、私は検討委員の一人として参画し、意見を述べてきましたが、その折、文系の学部だけではなく、地元の企業の育成を考慮し、理工系学部と教育・研究レベルの向上に向けて、大学院の新設を強く要望致しました。その結果、公立化して間もなく、大学院が開設され、今年度（令和8年）から度、理系の学部が誕生し、学部の編成替えも行われました。

学部の構成

- ・社会福祉学部（定員150名）
- ・地域経営学部（再編）（定員150名）
- ・共創情報科学部（新設）（定員90名）
- ・大学院 総合福祉学研究所

少子化の中において、私立大学当時では定員割れとなりましたが、公立化に伴い定員割れは解消し、学部学生に加え、大学院生の卒業生も加わり、今後、大学の発展が大いに期待されます。

第1回

「ふるさと信州のつどい・信州の東京」の案内

長野県人会連合会・会長 鈴木敏文
当県人会連合会は、今まで行ってきた3

大行事（2月の新年会、6月の総会、10

月の秋の大会）を統一し、年1回毎年6月の第一土曜日を予知日に「ふるさと信州のつどい―信州の東京」を実施することになりました。本行事は、首都圏で活躍する長野県出身者や長野県関係企業等と長野県及び市町村等との連携を深め、双方に有効な関係を構築し、互いの発展に寄与できるつどいとなることを目指しております。

今年度のつどいは、令和8年6月6日、ホテルニューオータニ 鶴の間（東京都千代田区紀尾井町4-1）で開催いたします。参加費12,000円。連絡先NRK長野県人会連合会（Tel 03-5829-9333）。申込締切4月30日です。

受章おめでとうござます

この度、高齢者叙勲で清水俊治さん（88才、上田市真田町曲尾）が旭日单光章を受章されました。清水さんは、真田町議を平成10年から上田市合併の18年までの2期上田市議を平成18年から26年までの2期を務められました。上田市議では、副議長を歴任。議員を務められたおり、東京真田町の総会には、しばしば出席していただき、ふるさとの様子を伺うことができました。

第51回衆議院総選挙（令和8年2月

8日投票）長野県3区開票の結果、自由民主党の井出庸生氏（48）が当選されました。

上田市・市長及び議員選挙結果

3月29日に上田市長及び議員の選挙が行われました。市長には、2名が立候補し、議員には、定員28名のところ、41名の立候補がありました。

開票の結果、市長には新人の斉藤達也氏（50）が僅差で現職の土屋陽一氏（69）を破り、初当選しました。また、議員に関しては、真田地域から立候補した、佐藤論征氏と古市順子氏が当選しました。さらに、竹室出身で丸子地域から立候補した、齋藤加代美氏が当選しました。

年会費の振込を

同封の振込用紙にて、本年度会費2000円の振込をお願いします。

会費振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00110-1-25577

しらかば通信 No. 33、

発行日 2026（令和8）年3月31日
東京真田町の会 事務局 深町共榮
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽825-7
Tel & Fax 0268-75-3886 / M 090-7225-6491
E-mail t.fukunachi80@gmail.com

【カットの版画は、文集「傍陽の子」(昭和30年)から引用】





編集

真田の郷まちづくり推進会議広報部会

真田の郷まちづくり推進会議広報紙

さなぎしんぶん sanagi newspaper

第29号

2025年12月16日発行



Instagram・フェイスブックで最新情報が見れます!

第三回公募展「真田の郷を描く」

真田中央公民館で、第三回公募展「真田の郷を描く」が開かれました。主催は「真田の郷を描く公募展実行委員会」、代表は堀内和子さんです。真田氏ゆかりの地として知られるこの地域の魅力を、アートを通して広く伝えようと始まったこの企画。今回は全国から43点の作品が寄せられ、埼玉県や長崎県からの応募もありました。地元の真田中学校や菅平中学校の生徒の作品も展示され、若い感性が会場を明るく彩りました。



作品展は11月8日から16日まで開催され、来場者の投票によって受賞者が決まりました。展示された作品には、神社や四季折々の自然、農村の風景などが描かれ、訪れた人からは「郷土の良さを改めて感じられた」との声が寄せられました。主催者も「作品を通じて真田のいいところをたくさん見つけてもらえた」と笑顔で話していました。

受賞者には、実行委員の山本夕起子さんが提供したりんごが贈られ、温かい地域のつながりを感じさせる場面もありました。

「真田にはまだまだいいところがある。これからも新しい方法を模索しながら続けていきたい」と主催者は語ります。芸術を通じて広がる交流の輪は、地域の魅力をさらに輝かせてくれそうです。

※受賞作品は真田中央公民館等にあるパンフレットをご覧ください。



【お問合わせ】 真田の郷まちづくり推進会議 上田市真田町長 7178-1(真田地域自治センター内)
TEL・FAX: 0268-55-9422 (平日午前10時~午後4時)